

VOLUME 6 NO. 1 OCTOBER 1987

# J A P A N R E G I O N



“Transpersonal Communication”

個人を超えるコミュニケーション

# 目 次

- 2.....リージョン会長就任挨拶
- 3.....Region President's Acceptance Speech
- 4.....日本リージョン役員  
Japan Region Officers
- 5.....リージョン今期のテーマと目標
- 6.....リージョン今期の各委員会委員長  
Region Committee Chairmen
- 7.....日本リージョン今期の各委員会委員長及び委員
- 8.....第一副会長挨拶  
Region 1st Vice President's Message
- 9.....第二副会長挨拶  
リージョン広報委員長挨拶
- 10.....資格認証課程を受けましょう  
Let's Participate in the ITC Accreditation Program
- 11.....第6回リージョン大会案内  
Invitation to the Sixth Japan Region Conference
- 12.....祝チャーター(浜松クラブ)  
表 彰
- 13.....カウンスル会長挨拶
- 14.....哀 悼
- 15.....カウンスル例会
- 16・17...第46回ITC世界大会に参加して(カナダ・バンクーバー)
- 18.....インタビューを受けて
- 19~24...ITC コミュニケーターより (July/August 1987, Vol.2 No.6)
- 25.....会則・決議委員会より  
Amendments to Japan Region Bylaws and Standing Rules
- 26.....ITC基金報告
- 27.....資料役員からの案内
- 28.....資料一覧表
- 29・30...特別会計からのお知らせ
- 31・32...リージョン通常会計決算報告  
Japan Region Financial Report
- 33.....リージョン基金会計決算報告  
Japan Region Fund Report
- 34.....第5回リージョン大会決算報告  
The Fifth Japan Region Conference Financial Statement
- 35~38...クラブ一覧表
- 39.....1988年建国200年記念リージョン合同大会のご案内

# FUTURE PERSPECTIVES

未来の展望

ITC Theme for 1987~88



HAZEL W. WESTFALL  
International President 1987 - 1988  
ITC国際会長  
ヘイゼル W. ウェストフォール



JUNE M. RUSSELL, AC  
DIV VI Vice President  
ディビジョンVI副会長  
ジューン M. ラッセル

# TRANSPERSONAL COMMUNICATION

個人を超えるコミュニケーション

Japan Region Theme for 1987-88



日本リージョン会長  
高柳恭子  
Japan Region President  
Kyoko Takayanagi



## リージョン会長 就任挨拶 *ITC*

### 個人を超えるコミュニケーション

リージョン会長 高柳 恭子

世界各国、ITCの会員は会合に先だち、「ITC 宣誓」を全員で唱和します。この宣誓の目的は、私たちが会の活動に積極的に参加し「話し方」、「きき方」などの訓練の場を持ち、コミュニケーションの技術を習得し、個人の可能性の実現をめざし、会の運営や組織の機能などを学びながら、真の民主的精神を培い、勝れたリーダーシップを身につけた社会的な人間としての成長を目指すことであります。

このような理念に基づいてアーネステインホワイト女史がこの会を創立されまして、今年50周年という記念すべき年にあたります。

今日では日本も、1つのクラブから39クラブ、1000名ちかい会員数となりました。1990年までには50クラブを目指しております。このような大きな組織となっていくに伴い、私たちにとってますますコミュニケーション技術の向上が重要な課題となってきます。

戦後、日本も民主国家となり「個性の尊重」、「個人の自由」といったことなどが大切にされるようにもなりましたが、それがややもすると「個」の意識ばかりが強くなりすぎ、価値観の多様化と相まって、人間関係、コミュニケーションの難しさが一そう増し、社会に色々な波紋を投げかけてもおります。

確かに一人ひとりとはかけがえない尊い存在です。しかし、一人ひとり違った「個性」をもった「個人」の集りである社会におきまして、一体どのような態度、姿勢で他の人とコミュニケーションしていくことが、私たちには必要なのか、もう一度あらためてITCの理念に心を向けて考えたいと思います。

最近、私は著名な心理学者である河合隼雄氏の新書の中で西洋の心理学者の間で「国際トランスパーソナル学会」が生れていることを知りました。“トランスパーソナル”とは、“個人を超える”といった意味ですが、それは今まで西洋人が大切にしてきた「個人」を、大切にする余り「個人」と「他人」とを切り離れた存在として考える傾向を助長し過ぎてきたが、人間は基本的には共通な願望をもっている存在である、といった認識にたつて大切にしてきた「個人」という境界を超えて、さまざまな人々と一緒にもっと話しあい、考えてみることにしよう、といった主旨でおこった運動のようです。

洋の東西を問わず、もっと全体の中での「個人」といった見方、考え方の必要性が今日問われつつあるように思います。

そこで今期のテーマを「個人を超えるコミュニケーション」とし、その技術向上に更に努力していきたいと思います。自分だけの考え、価値観だけに固執しないで、開かれた広い心で他人の考えや言葉にも耳を傾ける、こういった態度で活動を進めていきたいものです。「きく」技術も、「話す」技術が訓練を通して上達していくように、「きく訓練」を通して、その能力は開発され改善されていくものです。その結果として、その人の人間関係はより広がり、より深いものとなっていきます。またそうした関係の中でその「個人」はより発展、成長を遂げていくものであることが実証されております。そしてその成長した「個人」の集団は、一段と大きな力となってその「組織」を更に発展へと導いていきます。

この一年間、この目標をもって皆様と共に研鑽に励み、つつがなく大任が果せますことを心より祈りつつ、就任の挨拶といたします。



## Transpersonal Communication

Region President, Kyoko Takayanagi

We, the members of ITC, all the world over, give the ITC pledge in unison at the beginning of every meeting. The purpose of ITC is to obtain communication skills through speech training and listening practice, and by learning parliamentary procedures and organization techniques, to become a member of society with a real democratic spirit and good leadership skills.

It is 50 years since Ernestine White began ITC with this principle, and this year will be a memorable 50th anniversary.

In Japan, today there are 39 clubs and almost 1000 members. We aim to have 50 clubs by the year of 1990. As the organization becomes larger, even better communication skills will be required.

After the war, although Japan became a democratic country, many social problems were created by putting too much emphasis on respect and freedom for individual. Each of us, of course, should be respected as an individual, but in a society of many different individuals, we have to stop and consider how we should communicate with each other. Here, let me remind you to review the principles of ITC once more.

Recently, in a book written by Hayao Kawai, a famous psychologist, I discovered there is a research topic, among Western psychologists, called "International Study in the Transpersonal." Transpersonal means "beyond the individual."

In the west, an individual is considered to be so important that as a result, there has been a tendency for an individual to be completely separated from other individuals. Basically, however, people all have somewhat the same desires in life. So, in recognition of this conception, the Transpersonal movement was created so that we might talk and think with different people beyond the boundary of a single individual. Moreover, in the west as well as in the east, it is necessary for us to see the individual as an individual within a group.

Accordingly, I have made my term theme "Transpersonal Communication" in order to progress in communication skills. Transcending the individual, we should listen to others without limiting ourselves to only our own thoughts and values, and keep an open mind.

We can improve our listening skills with practice and the individual can learn to be an efficient listener. As a result, it can improve our human relations and make it more meaningful. Besides, an individual will surely benefit through better communication. As an individual develops, it motivates the organization of individuals to progress and grow.

Under the theme of this term, I will do my best as your president. Please continue to support and cooperate with us in order to achieve the goals of ITC.

リージョン翻訳委員 近藤みほ子(葵)

1987～1988

日本リージョン役員

Japan Region Officers

野田  
絢子  
新木  
昌子  
高柳  
恭子



鈴木  
宏子  
伊庭  
文子  
常田  
道子

### 選出役員

- 会 長 高 柳 恭 子(名古屋)  
〒466 名古屋市昭和区山脇町4-4  
☎052-733-3057
- 次期会長 鈴 木 宏 子(名古屋)  
〒467 名古屋市瑞穂区高田町3-21  
☎052-852-0204
- 第一副会長 新 木 昌 子(名古屋)  
〒478 知多市巽ヶ丘267  
☎0562-34-9471
- 第二副会長 伊 庭 文 子(阪 神)  
〒616 京都市右京区宇多野北院町14  
☎075-461-2723
- 書 記 野 田 絢 子(阪 神)  
〒665 宝塚市武庫山2-1-32  
☎0797-72-3800
- 会 計 常 田 道 子(京 都)  
〒612 京都市伏見区桃山町毛利長門東町34  
☎075-611-1125

### 任命役員

- 議会法規 小 林 令(東 京)  
〒227 横浜市緑区美しが丘3-37-5  
☎045-901-2389
- 編 集 鶴 飼 恵 津 子(名古屋)  
〒462 名古屋市北区駒止町1-50-2  
☎052-916-2033
- 資 料 堀 内 迪 子( 錦 )  
〒461 名古屋市東区主税町4-10  
☎052-931-7047

### Elected Officers

President: Kyoko Takayanagi (Nagoya)  
4-4, Yamawaki-cho, Showa-ku, Nagoya 466  
(Tel. 052-733-3057)

President-Elect: Hiroko Suzuki (Nagoya)  
3-21, Takada-cho, Mizuho-ku, Nagoya 467  
(Tel. 052-852-0204)

1st Vice President: Masako Araki (Nagoya)  
267, Tatsumigaoka, Chita-city 478  
(Tel. 0562-34-9471)

2nd Vice President: Fumiko Iba (Hanshin)  
14 Kitanocho, Utano, Ukyo-ku, Kyoto 616  
(Tel. 075-461-2723)

Secretary: Ayako Noda (Hanshin)  
2-1-32 Mukoyama, Takarazuka-city 665  
(Tel. 0797-72-3800)

Treasurer: Michiko Tsuneda (Kyoto)  
34 Momoyama-Mohrinagato-Higashi-machi,  
Fushimi-ku, Kyoto  
(Tel. 075-611-1125)

### Appointed Officers

Parliamentarian: Rei Kobayashi (Tokyo)  
3-37-5, Utsukushigaoka, Midori-ku, Yokohama 227  
(Tel. 045-901-2389)

Editor: Etsuko Ukai (Nagoya)  
1-50-2 Komadome-cho, Kita-ku, Nagoya 462  
(Tel. 052-916-2033)

Supply: Michiko Horiuchi (Nishiki)  
4-10, Chikara-machi, Higashi-ku, Nagoya 461  
(Tel. 052-931-7047)

### テーマ：個人を超えるコミュニケーション Transpersonal Communication

ITCはコミュニケーション技術を習得していく教育団体です。ご自分の平素のコミュニケーションの姿勢、態度について下記のことを充分留意してご活躍下さい。

- (1)相手の報告、発表などを間違いなくきいて、その事実だけを正確に伝えていく。
- (2)もし自分の憶測、推測、解釈を加える場合はよくそのことを自覚し認識した上でそれは「自分の憶測、推測、解釈である。」旨を明らかにして伝える。
- (3)相手の伝えなかったこと、又その気持を自分の価値感や自分のモノサシ、偏見で解釈、理解していないか、あるいは断定していないかをよく「自己チェック」すること。
- (4)「言葉だけにとらわれず、相手が本当に言いたいこと、伝えたいことを相手の立場と気持ちにたって理解していくように努力する。
- (5)常に会則、議事運営法などの知識を習得しておくこと。

#### 長期目標

- (1)日本事務局の設置—資料、翻訳、通信などの仕事を取り扱う。
- (2)朗読研修—1990年度までに社会への還元を実現する。
- (3)クラブ増設強化—1990年度までに50クラブとする。

#### 短期目標

##### (1)日本事務局設立

- a.今まで資料役員の管理下にあったすべての教育資料及び物品を服部印刷株式会社（〒454 名古屋市の中川区中郷5丁目261 Tel 052-361-5432 Fax 052-361-5431）に委託する。
- b.翻訳も遂次事務局管理下で作業をすすめていくことを検討中。

##### (2)朗読研修

今期から社会還元への実現化へ第一歩をふみ出すとともに今期より一般委員会と同じ扱いとする。

##### (3)創立50周年記念行事計画

実行委員長に新木昌子さんを任命。日本リージョンが各カウンスルを後援してカウンスル会合やリージョン年次大会のプログラムに50周年の記念行事的プログラムを盛りこむ。地域社会、行政機関、マスコミ関係などに呼びかけITCの社会的知名度を広げることに重点をおく。プログラム計画など新木実行委員長が相談に応じる。

リージョン常任委員会委員長

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 資格 認証      | 鈴木 宏子(名古屋) |
| 2. 会計 監査      | 森田 慶子(大阪)  |
| 3. 予算・財務      | 豊島 知子(名古屋) |
| 4. 会則・決議      | 盛田 純子(名古屋) |
| 5. 大会 準備      | 木下 あつ子(大阪) |
| 6. 選挙         | 三宮 晶子(阪神)  |
| 7. 増設         | 堀江 祐子(東京)  |
| 8. 国際 交流      | 江村 千鶴子(関西) |
| 9. 指名         | 早川 住江(大阪)  |
| 10. プログラム・教育  | 新木 昌子(名古屋) |
| 11. 広報        | 山崎 正子(芦屋)  |
| 12. 出版        | 竹内 宏子(名古屋) |
| 13. スピーチコンテスト | 鈴木 みつ子(京都) |
| 14. 翻訳        | 加藤 啓子(甲南)  |
|               | 松下 えん(東京)  |

Region Standing Committee Chairmen

- Accreditation: Hiroko Suzuki(Nagoya)  
 Audit: Keiko Morita(Osaka)  
 Budget and Finance: Tomoko Toyoshima  
 Bylaws and Resolutions: Junko Morita(Nagoya)  
 Conference Coordinating: Atsuko Kinoshita(Osaka)  
 Elections: Akiko Sangu(Hanshin)  
 Extension: Yuko Horie(Tokyo)  
 International Relations: Chizuko Emura(Kansai)  
 Nomination: Sumie Hayakawa(Osaka)  
 Program-Education: Masako Araki(Nagoya)  
 Public Relations: Masako Yamazaki(Ashiya)  
 Publications: Hiroko Takeuchi(Nagoya)  
 Speech Contest: Mitsuko Suzuki(Kyoto)  
 Translation: Keiko Kato(Konan)  
 En Matsushita(Tokyo)

委任

(リージョン大会) 武内 熙子(関西)

Credentials

(Region Conference): Hiroko Takeuchi(Kansai)

特別委員会

- |              |            |
|--------------|------------|
| ITC特別会計      | 江藤 万里子(関西) |
| ITC通信物翻訳     | 鈴木 美枝子(葵)  |
| 朗読研修         | 豊島 知子(名古屋) |
| 日本リージョン事務局設立 | 新木 昌子(名古屋) |
| 通信書記         | 田辺 敦子(錦)   |
| ITC50周年記念行事  | 新木 昌子(名古屋) |

Special Committee Chairmen

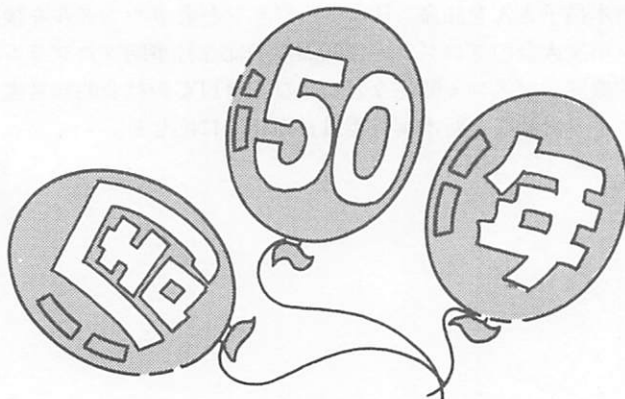
- ITC Special Accountant: Mariko Eto(Kansai)  
 ITC All Club Mailing Translation: Mieko Suzuki(Aoi)  
 Oral Reading Training: Tomoko Toyoshima(Nagoya)  
 Japan Region Office Organizing: Masako Araki(Nagoya)  
 Corresponding Secretary: Atsuko Tanabe(Nishiki)  
 50th Anniversary : Masako Araki(Nagoya)

ITC委員会

- |        |            |
|--------|------------|
| 基金     | 鈴木 宏子(名古屋) |
| マガジン連絡 | 置塩 啓子(関西)  |

ITC Committee Appointments

- Endowment: Hiroko Suzuki(Nagoya)  
 Magazine Liaison: Keiko Okishio(Kansai)



1987~1988

I T C 日本リージョン常任・特別委員会委員

常任委員会

資格認証	鈴木 宏子 (名古屋)	藤村 泰子 (大阪)	八日市屋多栄子 (神戸)
会計監査	森田 慶子 (大阪)	入江 笑子 (大阪)	
予算・財務	豊島 知子 (名古屋)	伊藤 匡子 (名古屋)	
会則・決議	盛田 純子 (名古屋)		
大会準備	木下あつ子 (大阪)	八木美恵子 (関西)	
選挙	三宮 晶子 (阪神)	上島 晴美 (関西)	伊藤 孝子 ( 葵 )
増設	堀江 祐子 (東京)		
国際交流	江村千鶴子 (関西)	牛込佐知子 ( 葵 )	山本須奈見 (阪神)
		小林 以登 (青山)	
指名	早川 住江 (大阪)	田口 邦子 ( 錦 )	安井 紘子 (神戸)
プログラム教育	新木 昌子 (名古屋)	武内 浩子 (甲南)	都間 和子 (京都)
		石川 祥子 ( 葵 )	田辺 敦子 ( 錦 )
		徳橋八重子 ( 錦 )	豊島 知子 (名古屋)
		芦原 明子 ( 栄 )	
広報	山崎 正子 (芦屋)	平瀬 暢子 ( 錦 )	横井 俊子 (名城)
出版	竹内 宏子 (名古屋)	伊藤 匡子 (名古屋)	佐藤 明子 (名古屋)
スピーチコンテスト	鈴木みつ子 (京都)	田中 郁子 (京都)	森田里栄子 (六甲)
		ジュディー レイビー (平安)	
翻訳	コミュニケーターのとりのまとめ		
	加藤 啓子 (甲南)	市川 昌子 (芦屋)	勝山 和代 (北大阪)
		近藤みほ子 ( 葵 )	田辺 敦子 ( 錦 )
		奥田小夜子 ( 錦 )	
	教育資料のとりのまとめ		
	松下 えん (東京)	大屋 奈奈 (東京)	佐野千賀子 (筑波)
		宮 崇 雅子 ( 錦 )	

特別委員会

I T C 特別会計	江藤万里子 (関西)	杉山満佐子 (関西)	
朗読研修	豊島 知子 (名古屋)	荒川 昭子 (東山)	今井千代子 (青山)
		河原めぐみ (青山)	山崎 眞知 (北大阪)
		長沢 久子 (甲南)	
日本リージョン事務局	新木 昌子 (名古屋)	鈴木 宏子 (名古屋)	片桐 寛子 ( 錦 )
		横山 幸子 (阪神)	江藤万里子 (関西)
		八代ふゆ子 (名古屋)	
I T C 通信物翻訳	鈴木美枝子 ( 葵 )		
通信書記	田辺 敦子 ( 錦 )		
50周年記念	新木 昌子 (名古屋)		
委任	(リージョン大会)	武内 照子 (関西)	

I T C 委員会

基金	鈴木 宏子 (名古屋)
マガジン連絡	置塩 啓子 (関西)



## 第一副会長あいさつ Region 1st Vice President's Message

ITC

### 熱意を持って参加しましょう リージョン第一副会長 新木 昌子

クラブ、カウンスル及びリージョンそれに会員一人一人が各々の目標を設定し、新鮮な気持で新しい会期を迎えることになりました。今年度はリージョンプログラム教育委員長及び50周年記念行事委員長として、会員の皆様と共にITCの発展と進歩のため努力することを楽しみにしています。

今期はITCの創立50周年記念祭を迎えまして世界中の会員全てがこのお祝いに参加します。各カウンスルとクラブもこのイベントを祝うため、独自の計画を立てるようおすすめします。又この際広報と渉外又は特別プログラムを通じてITCを社会にひろめるすばらしい機会でもあります。行事のヒントとして、50周年記念についてコミュニケーターからの翻訳が別頁に記載されています。又要請があれば50周年記念行事委員会もよろこんで計画の援助をさせていただきます。このすばらしい記念祭を今期のハイライトの一つとして計画してはいかがですか。

言う迄もなく、各カウンスルとクラブプログラム委員会はもう既に会員のニーズに応じた満足ゆく効果的なプログラムを組んでいる事でしょう。プログラムを作成するのは主としてプログラム委員会の任務ですが、会員にも責任があります。例会には期待と熱意を持って参加しましょう。バランスの取れた良いプログラムを作る為にリージョン資料では参考になる資料を数多く用意しております。大いに活用して水準の高いプログラムを各レベルで作成して下さい。

リージョンプログラム委員会も京都大会の為、会員の皆様にも多勢プログラムに参加して頂き楽しい教育的なものを計画しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今期はエキサイティングな年です。今期はITCの過去に敬意を表し、ITCの輝しい未来の発展を期待する年です。

## PARTICIPATE WITH ENTHUSIASUM

Masako Araki, Region 1st Vice President

We are all starting afresh with the beginning of a new term to attain the goals set for each individual as well as all clubs, councils and region. It is my pleasure to work with you this year as Region Program / Education Committee Chairman and also as the ITC 50th Anniversary Special Committee Chairman and endeavor for the growth and progress of ITC.

This is an exciting term to commemorate the 50th Anniversary of International Training in Communication. Every member throughout the world is involved in celebrating this Anniversary.

Councils and clubs are urged to develop your own plans honoring this event. This will be a grand opportunity to enlighten the public of the ITC through use of publicity, public relations and special programs.

For ideas, look for the translated article of the 50th Anniversary from the Communicator found else where in this Magazine. The Regional 50th Anniversary Special Committee will also be happy to be of your assistance. Schedule this exciting event as one of the highlights of the term.

Needless to say, I'm sure the council and club program committees are already hard at work planning to produce satisfying and stimulating programs to cater to the needs of the members. Although programming is primarily the duty of the Program Committee, it is also the responsibility of each member. The members should participate at each meeting with a feeling of anticipation and enthusiasm. For planning a well balanced program, the Region Supply has many translated ITC materials available for your information and reference. Use these materials plus your individual ideas and produce programs of high standards at each level. The Regional Program Committee is also planning for an enjoyable and educational program for the Kyoto Conference. We are asking many of you to participate in the program and would appreciate your cooperation.

This is an exciting year. This is a term for us to honor the past and look toward a bright future for growth of International Training in Communication.

## 会員こそITCの宝物

リージョン第二副会長 伊庭文子

ITC創立50周年の記念すべき任期がスタート致しました。7月31日現在、クラブ数39、会員総数約950名となっています。酷暑を通り抜けてホッと一息のとき、心身共にご健康であられることを心より念じています。さて、7月私は世界大会に初参加して、「百聞は一見に如ず」を体験してきました。リージョンマネージメント・トレーニングで、ロンダ・マッケックニー第一副会長は冒頭でとにかく会員委員会は閑職と思われがちだが、このポジションの重要性を委員の方々によく認識してもらう事とおっしゃいました。会員の充当と向上の全体把握を常に正確に、数字と動向において知っていなくてはなりません。事実を正しく期限内に報告集計する事が重要です。個より多数の中の個を認めてゆく過程では、このルールは大切であります。ここに皆様にもう一度読んで頂きたい記事があります。リージョン会報1986年10月号P22～33 キッシンジャー前世界会長の文なのです。私達は人の心の痛みがわかり、その解決に力づけてさし上げられる心づかいをこの任期を通じて研修する価値ある一年としたいものです。「どうして?」「なぜ?」「では…」を会員委員会のモットーとしましょう。そして新しい発見を喜び、分かちあえる処。安心して自己啓発がトライ出来る庭を創るメンタルな造園家一環境づくり人と自認したいものです。“Quality and Quantity” (質と量) が、大会スピーチコンテストの予選と決勝戦に偶然にも出題されたのは、明日へのITCのあり方を指す一つのポイントと推察しました。50年を機に新しい変化をふまえたITC、そして世界を舞台とするこの組織に、新たな「関心」をもち直して、友をお誘いしましょう。人間こそ宇宙の宝物であることを感謝しながら。

## 今期の広報活動について

リージョン広報委員長 山崎正子

今年は、ITC創立50周年という記念すべき年にあたっている。

ITC本部は勿論、リージョン、カウンスル、クラブ、こぞって特別な趣向をこらすと共に、原点にもどってITCを考える年だと思う。

「TAKE FIVE」「WHAT IS ITC?」等、先輩達が智慧を絞って立派なリーフレットを作って下さっている。バッジやブローチも沢山ある。しかしこれらがどの様に活用されているのか? 今年の広報は、一見消極的に見えるだろうが、これらをチェックしてみたいと思う。

メンバー一人ひとりの自覚を促がし、各々満足して楽しみながらクラブの活動ができるように簡素化しながらITCの本分は忘れず、充実してほしい。そうすれば、自ら、にこやかに活動ができる。無理に発展発展と脊のびし手を広げると疲れが出る。

誰でもメンバーになれるとはいうものの、ある程度時間的にも経済的にも余裕があり自己啓発を望む人でないと無理である。

私達は言葉や行動を通してそのイメージや姿勢を見て頂く事によって、仲間を増やす事が一番良いのではないか。

地方は別として、名古屋、阪神間、京都では飽和状態の様な気がする。近くカウンスル分離という大問題もある。

ITCの広報は単なる宣伝とは違うと思う。

今年はメンバーの盛り上げる力によって広報活動をしたい。素晴らしいアイデア、イベントがあればどしどし広報へお知らせ頂きたい。

それらを社会に繋ぐ事を広報の役目と心得努力する積りだ。外にむかうより内を充実させ、その事実を報ずる事を今年の広報の目的とする。



## 資格認証課程を受けましょう

# ITC

資格認証委員長 鈴木宏子

あなたは資格認証課程のマニュアルをお持ちですか。もしまだでしたら至急購入なさってください。日本リージョンの資料委員会では取り扱っていませんので、ITC本部から英語版を購入して下さい。カタログNo.101で一冊が7ドルです。私達はITCで各種の訓練を受けますが、学校や講習会のように卒業証書や修了証書はありません。しかし、これがITC会員の修了証書になるものです。今回はコースⅠの内容を紹介いたします。

### コースⅠ

**出席** 1年間のクラブ例会に80%出席すること。

カウンスル例会へ2回出席。

会員は上のレベルの会合に出席した場合、それをクラブ又はカウンスル例会出席の代りにすることが出来る。

**伝達技術** 1.以下のうち4つの課題を完了すること。

a. 宣誓、乾杯、インスピレーション、感謝の祈り、祈願、閉会の言葉、感謝の言葉  
(この中から2つを選び丸をつける。)

b. トピックリーダー

c. プログラムリーダー

d. レクシコロジー、文法説明、タイマー(この中から1つを選び丸をつける。)

e. 3回異なったテーブルトピックスに参加すること。

2.以下のうち3つの課題を完了すること。(各5~8分のスピーチ)

a. 最低限のメモを使うスピーチ(9×15cmのカード、3枚位)

b. 構成に力点を置くスピーチ

c. 視覚補材を用いてのスピーチ

d. ユーモラスなスピーチ

e. 情報を伝えるスピーチ

f. 説得するスピーチ

g. 調査に基づくスピーチ

**評価** 3回の例会で評価訓練者になること。

**リーダーシップ** 常任委員会又は特別委員会の委員になること。

以上ですが、1988年8月1日以降過去の実績に対する証明が出来なくなります。今年度は今迄の実績に対してサインをもらう最後のチャンスです。今年度の表彰はコースⅠを完了した会員を1点、コースⅡを完了した会員を2点の得点とし、一番得点数の多いクラブをリージョン大会で表彰いたします。わからない点はあなたのクラブの資格認証委員長にお尋ね下さい。

### “Let's Participate in the ITC Accreditation Program”

Regional Accreditation Committee Chairman; Hiroko Suzuki

Do you have the English edition Accreditation Manual? If you do not, please buy it as soon as possible. As it is not available at Japan Region Supply Committee, you must order it from ITC. The catalogue number is 101 and the price \$7.00. You can gain extensive training in ITC, but you are not given a certificate of completion as at a school or institute. This accreditation takes the place of a certificate of completion of a course. In this issue I shall introduce the details of Course 1. (see Accreditation Program)

After August 1, 1988, we will not be able to get certification for past presentations. This year is the last chance to be given recognition for them. A Japan Region Award will be given to the club with the highest number of points. One point for a member accomplishing Course 1, two points for accomplishing Course 2. If you have any questions please ask your committee chairman.

第6回 日本リージョン大会 ご案内  
The Sixth Japan Region Conference will be held in Kyoto  
( on June 9th-10th, 1988 )



大会コーディネーター 木下あつ子

日本リージョンが設立されて早や7年、会員も1000人ちかくなりました。  
ITC創立50周年に当る本年、第6回大会は、日本リージョン設立大会会場となった京都パークホテルで開かれます。

京都駅からタクシーで5～6分、隣に三十三間堂、向かいには国立博物館があり、好奇心、向学心の強いITC会員向きの絶好の地かと思えます。ついこの間の修学旅行を思いだされる方もおられるのではないのでしょうか。

美しく、聡明なITCの皆様のご来京は、きっと古都の話題を攫うことでしょうか！？

カウンスルNo.3としては3度目のホステス役です。日頃のITC訓練の成果が出せれば、皆様にお喜びいただけること間違いなしと確信しています。

プログラムその他詳細は、会報の号を追ってお知らせいたします。

開催日：1987年 6月 9～10日

場所：京都パークホテル [TEL] 075(525)3111(代)  
東山区三十三間堂廻り町

### Invitation to the 6th Japan Region Conference

Atsuko Kinoshita, Coordinator

Japan Region has reached its seventh year with a membership nearing 1000. We cordially invite you to the sixth Japan Region Conference to be held at Kyoto Park Hotel on June 9th~10th, 1988.

This was the site of the Japan Formation Conference, the birth place of our region.

The hotel is a few minutes from Kyoto Station by taxi and surrounded by Sanjusangendo, and the Kyoto National Museum, so it will be an ideal venue for our ITC members, brimming with intellectual curiosity. We are confident that our city will be charmed by your visit.

As this year is the 50th anniversary for ITC; we are honored to host this conference; the third time for us; and will do our best to put our training in practice.

We will keep you informed as to progress in plans in the following issues.

祝　　チャーター  
Congratulations!

浜松クラブ  
Hamamatsu Club  
Council No. 1

1987年 6月 1日  
Charter No. 3379



“和を結ぶPeacemakerの役割を”

浜松クラブ会長 古澤由紀

去る7月8日に浜松プレスタワーに於いて認証式典を行い、まだ湯気の立ち上っている浜松です。クラブでの学習はメンバー各自の目標と目的が異なっていることを認識し、互いに協力し合い楽しい例会にしていきたいと思っています。その上で浜松クラブとしてITCの為に何が出来るかを早く見つけたいと思っています。その為にはどのように小さな機会も無駄にすることのないようあらゆる場に積極的に参加していきたいと思っています。《少にして学べば 壮にして明日なり 壮にして学べば 老いて衰えず 老いて学べば 死して朽ちず》をクラブの銘とし、常に周囲を明るくする存在としてのPeacemakerの役割を果していきたいと願っています。どうぞよろしくお願い致します。

表　　彰

例年どおりです。

- ①20年継続会員
- ②会員増加率最高クラブ
- ③会員増加率最高カウンスル
- ④ゴールデンギャベル賞最多取得者(ITC本部より)

- 1名紹介し、入会させると→金色の丸いバッジ
- 2名紹介し、入会させると→金色のギャベルピン
- 3名紹介し、入会させると→宝石入金色のギャベルピン

そして1名紹介し入会させると、新入会員+紹介者を1カップルとして1回抽籤(3名の場合は3回)し、当選者はフロリダ州オーランドで開催されるITC世界大会に招待されます。

つまり、往復航空券、大会登録費、大会中の食事券が支給されます。但し、必ず参加することが条件です。

なお、これはすべてのクラブに共通ですが新設立クラブのメンバーは除外されます。

入会に際しては、紹介者を必ず書いて下さい。会員を定着させること、増加させることは自然体の成果であることが本質です。どうか楽しみつつ、良い結果が得られますように!!

リージョン第二副会長 伊庭文子

※表彰についての詳細は号をおって記載します。

本号p.10及び、ITC Communicator p.13も参照して下さい。 一編 集一



“目標に向って”

カウンスル№1 会長 星野佐登

“目標に向って” ITCの会員ならば当然の事なのに、何時の間にか目標もなく、その時々を無難に過している自分に気づき、ビックリしました。カウンスル№1の会長にとお話のあった時です。クラブ会長をお引受けした時の燃えるようなチャレンジ精神はどこへ行ってしまったのでしょうか。何かにひたむきに取り組む事の大切さを考え、カウンスル№1第15期の会長をお引き受けしました。

そしてテーマを“目標に向って”とし、就任の挨拶で会員の皆さまに、それぞれの目標を自分の力より少し上かなと思う所において、それに向ってチャレンジして下さいようお願いいたしました。カウンスル№1の今期の目標は次の二つに定めました。

1. 例会のプログラム、ニュースレター等、全会員に還元出来る事に力を入れること。特に今期はITC創立五十周年に当り、1月例会では、日本リージョンの後援でITCらしい有意義なプログラムを計画中です。

2. 新しいクラブの教育に力を入れる事。

カウンスル№1では前期末に続いて2つのクラブ(柏クラブ、浜松クラブ)が誕生いたしました。両クラブ共名古屋から遠く、指導に行くのも困難と思われませんが、新クラブの教育は増設に続くカウンスルの義務だと思い、何とか早く一人歩きの出来るクラブに成長するよう援助したいと思っております。

30有余年の永い伝統を持つクラブから生まれたばかりのクラブまで、そして日本語、英語とカウンスル№1はバラエティに富み、そのバラエティを生かして今期も楽しい例会を開き、よりよきコミュニケーションへのトレーニングの場にしたいと願っております。

Re— Re— Re—

カウンスル№2 会長 菊池悦子

カウンスル№2は、この5年間に奈良、広島、米子、福山、岡山、城北、宝塚、松江と各地にクラブを増設し、今や15クラブ376名を擁する最も大きなカウンスルとなりましたが、今期を以て分割をしなければならなくなりました。

この度、再び会長に就任し10年前にまだクラブが5つ、カウンスルが1つだった時代の会長と異なり、組織化された会長任務の内容を改めて学び種々の準備にとりかかりました。漸く一段落し、ほっとして暑さを避け主人と河口湖の山荘へ出掛けました。娘達夫婦が小学生の孫一人を残して帰京した後、白樺林に囲まれ、冷気に包まれ木洩れ陽の中の山荘の生活は新聞、テレビも電話もかからない静寂そのもので驚く程一日の時間を長く感じました。手持無沙汰に主人と荒れた庭の草をひき整地作業に時間を費しながら、若い人達は見違える程拓けた庭をどのようにre-createするかなと楽しくなりました。やがて13人家族が集まりre-laxした休日を過し、この富士山麓の清々しい空気が家族の愛情にre-freshされて、夫々が都会の騒音と猛暑の中へ別れて家路に着きました。今期私がテーマとして掲げた3つのre-の言葉を思ったのでした。そして山荘に迄、届いた原稿の依頼にいつも私の脳裡から放れない分割の問題を思いました。

№2が今日迄一つの大家族として研鑽を重ねてきたものは分割後こそ、おのおののクラブがre—

createし成長の糧となるだろう - 親睦を深め得た友情はre-freshされるだろう - 今期こそ15クラブがre-laxした心で互のre-lationを大切にしなければならない - と思いました。ITC50周年の記念の年はNo.2が発展飛躍した年となるでしょう。Re-vivalの会長として各クラブに心を注ぎつつ努力をしてまいります。re-re-reとつぶやきつつ御挨拶させていただきます。

「ゆとりの心で、再び創ろう さわやかに」

## 深く交わる

カウンスルNo.3会長 続木 智子

七年前、3つのカウンスルに分離してから早いもので、6クラブで発足しましたカウンスルNo.3も現在13クラブとなり、今年度の終りには再びカウンスルを分割することになりました。

この節目の時こそ自覚して、ITC教育の基本理念をしっかりと把握した運営をしなければならないと思っています。又13クラブが共に過ごせる最後の年になるのですから、充実した交わりが出来る一年にしたいと思います。そんなことから今年度のテーマを『深く交わる』といたしました。

日常生活やITC活動においても、すべてのことは交わりから始まり実現してゆくものだと私は思います。人と人との温かいふれ合いや、与えられた立場や役目への心くばり、クラブとクラブの楽しい交流、そして自分自身との静かな対話など、生きること自体が交わりなのだと思います。

会長の任務を遂行するに当って、その仕事とどんな交わり方をするかによって、その結果が早かれ遅かれ具象化することでしょうから、その責任の重さを痛感いたしております。

皆様には、活発な意見の交換を、委員会でも役員会でもしていただきたい。それには自分の考えを素直に云っていたゞくことです。聞く人は相手の立場にたってよく聴き、理解しようと心がけることが、深く交わることへの手ははじめになるでしょう。そのような中で自分の間違いに気づいたら勇気を出して修正することも大切です。

活発な活動も、コミュニケーションの訓練も、友情を温めることも、自分の考えを、素直に発言することから、交わりの輪を広げ深めてゆけることでしょう。

すべては訓練の場ですから、明るくさわやかに、お互いを大切に交わりを深めて有意義な年にいたしましょう。

## 哀 悼

ひろしまクラブのチャーターメンバーで第2期会長(1984年～1985年)をつとめられた浜岡満江(杉峯満江)様 1987年7月20日午後6時28分死去されました。

乳ガンの再発が骨髄に転移し、約2年間の闘病生活を経て43才の若さでした。

会員一同心からおくやみ申し上げますと共に、ご家族の皆様が一日も早く心の平安をとりもどされますように願っております。

## カウンスル例会

### ●カウンスルNo.1例会予定日

1987.9.30 現在

	日 時	場 所	ホステスクラブ	プログラム予定
第1回	'87.10.30(金)	東 山 会 館	栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンベンション報告</li> <li>• 講 演</li> </ul>
第2回	'88.1.26(火)	東 山 会 館	錦	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ITC創立50周年記念行事</li> </ul>
第3回	'88.4.21(木)	東 山 会 館	東山	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーチコンテスト</li> </ul>
第4回	'88.6.21(火)	東 山 会 館	名城	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インスタレーション</li> <li>• ワークショップ</li> </ul>

会長住所：星 野 佐 登 〒466 名古屋市昭和区八雲町36 ☎052-832-1354

### ●カウンスルNo.2例会予定日

	日 時	場 所	ホステスクラブ	プログラム予定
第1回	'87.10.5(月)	西宮神社会館(えびす宮総本社) 西宮市社家町1-17 ☎0798-23-3311	甲南	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークショップ-「朗読」 橋田宏三(NHK放送劇団所属)</li> <li>北山孝子(朝日文化放送元アナウンサー)</li> <li>• ITCコンベンションリポートシンポジウム</li> </ul>
第2回	'88.1.23(土)	奈良県文化会館小ホール ☎0742-23-8921	奈良	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ITC創立50周年記念例会 「留学生を対象としたスピーチコンテスト」</li> </ul>
第3回	'88.4.23(土)	西宮神社会館 (えびす宮総本社)	六甲	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ITCスピーチコンテスト</li> </ul>
第4回	'88.6.30(木)	西宮市社家町1-17 ☎0798-23-3311	米子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インスタレーションとワークショップ</li> </ul>

会長住所：菊 池 悦 子 〒658 神戸市東灘区森北町6-6-3 ☎078-411-4021

### ●カウンスルNo.3例会予定日

	日 時	場 所	ホステスクラブ	プログラム予定
第1回	'87.10.29(木) 11:00~15:00	京都タワーホテル	都クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンベンションに参加して討論</li> <li>• アーネステインホワイト語録</li> </ul>
第2回	'88.1.29(金) 11:00~15:00	新阪急ホテル	大阪クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講 演</li> </ul>
第3回	'88.4.5(火) 11:00~15:00	未 定	北大阪クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーチコンテスト</li> </ul>
第4回	'88.7.6(木) 11:00~15:00	未 定	平安クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インスタレーション</li> </ul>

会長住所：続 木 智 子 〒606 京都市中京区寺町通り夷川上る ☎075-231-2015

パネルディスカッションに参加して

次期会長 鈴木宏子



バンクーバーでのITCコンベンションで7月20日、パネルディスカッションが行なわれた。テーマは“国際的探究”、その目的は世界中を更に深く理解するためであった。パネリストはアメリカ本土以外から選ばれ、ギリシャカウンスル、メキシコ、南アフリカ、オーストラリア、パシフィック、日本のリージョンから出場した。

元ディビジョンVI副会長新木昌子さんから「大会のプログラムに参加しませんか」というお誘いを受け、3月ルース・ラム会長から参加承諾へのお礼と共に役割はパネリストですと云う手紙が来た。4月にはモデレーターのコロンビアリージョンのマルジェ・マケイから、テーマ及び構成についての説明の手紙が来た。一人7分のスピーチで、質疑応答は5人で30分。この質疑応答が問題であった。沢山の外国人会員の前で、英語で巧く答えられるかどうか。5月は考えている間に過ぎ、6月から出発迄の40日間、話す内容を考え、英文にしマンツウマンの英会話学校に毎日通う、多忙な日が続いた。バンクーバーに着き、前日の19日、朝7時から朝食をいたゞきながら、初めて顔を見るマルジェや他のパネリストと打ち合わせをした。マルジェの温い人柄や、壇上では席の隣に新木さんが座ってくださるというラム会長の配慮で、私の乏しい力の90%を発揮出来たことは、まさにITCの訓練のお蔭であったと思う。今期('86~'87)のテーマ“可能性の探究”を身をもって体験出来た。キッシンジャー前会長、ラム会長からもよく出来ましたよという評価のお手紙も嬉しかった。唯、経済大国と云われる日本が、世界の人々に全く正しく理解されていないことを他のパネリストとの会話で痛感した。彼女達の頭の中での日本は、江戸時代の日本、中国との区別もないようであった。いつの日かコンベンションを日本で行って、近代的日本を見てもらわなければならないと思った。

### ベストをつくして満足

- ITCスピーチコンテストに参加して -

鳥取クラブ 佐伯きよえ

「ああ、出場してよかった!」。コンテスト終了後、演壇の前に聴衆がつめかけ、次々と賞賛の握手をしてくれたとき、最高の感激であった。

論題に即した内容を即座に展開し、聴衆を引きつけていく。歌あり、踊りあり、ジョークあり、巧みな表現を駆使したダイナミックな即席スピーチ。そのレベルの高さに驚嘆した。27名のスピーカーのうち、日本を除いてみな英語圏というのも言葉のハンディを感じた。世界中の色々な国の人がかもって気楽に参加できるようなコンテストにならないだろうか。いかにベストをつくして挑戦するか—これがITCの精神ではないかと、あの聴衆の卒直な反応を考えあわせながら、一層そう思う。

力強いご支援を下さいました皆さまに心より感謝とお礼を申し上げます。

## 姉妹カOUNSルの訪問とフェアフィールド市でのホーム・ステイ

神戸クラブ 立花眞琴

我々カOUNSルNo.2の12名は、ITC世界大会出席に先立ちシエラネバダリージョンカOUNSルNo.5を訪問した。サンフランシスコ到着時、キリングスワース会長とウィテカ様の出迎えを受けナパに移動。カリフォルニアワインで有名なナパでは市長御夫妻、カOUNSルNo.5主催の昼食会に招かれ



親交を深めることが出来た。その夜は美しい静かな街フェアフィールドに分宿し堅実で合理的なアメリカ人の生き方を窺いタフな生活面をじかに経験した。2日目はフェアフィールド市長のアレンジで市庁舎、議会、警察庁他施設を見学し、夕刻には助役御夫妻宅のガーデンパーティに招待された。3日目のヨセミテ国立公園へのアウトイング等々、アメリカの大自然のすばらしさとITCの皆様のご厚意、惜しみない友情を忘れることはできません。

フェアフィールド市教育委員のホーン氏からヨセミテ国立公園の説明を聞くカOUNSルNo.2の一行

## 日本リージョン表彰される！

大会第3日目7月21日ビジネス部門に於て、ITC基金の報告があり、1位、リオグランデ(USA) 2位、日本 3位、カートランド(USA)と発表される。次にExtension Awardとして、日本は2位の賞と\$50の褒賞金を得た。1位、南アフリカ 10クラブ、2位、日本 6クラブ、3位、グレートブリテン 4クラブ。これは数だけでなく、目標、計画、報告が期限内に整っている事が条件である。リージョン増設委員長の名前が呼ばれて、出席の伊庭委員長が賞を受けとった。

## ITC COMMUNICATOR 9/10月号の配布が遅れます!!

ITC事務局長のMuriel Bryantさんからリージョン会長に下記のような手紙('87.10.8付)が来ました。アナハイム本部の送電故障でコンピューターの記録が一部消されようやく復旧したところに'87.10.1.AM7:42(現地時間)ロサンゼルスで起きた地震のため郵送を受け持っている会社が被害を被りアドレスが混乱をきたしコミュニケーターの発送が遅れます。

# インタビューを受けて



今年創立五十年、日本では一九五一年(昭和二十六)年に名古屋クラブが出来、現在国内に三十九クラブがあります。私は名古屋クラブに二十三年前に入りましたが、今名古屋地区だけで英、獨、米、名城、学びます。自分の言いたいことをいかに適切に表現するかを訓練するわけです。最初は英語でも学びました。定員は一グループ三十人という軽い気持ちで入りましたが、人間はいりました。今まで続いては、下代から八十代で

## 50周年記念シンポジウム成功させた

国際的な教育・訓練機関 ITC の日本地区会長 高柳 恭子さん(59)



### 地域社会に役立つ組織に

四十〜五十代が多いです。でも自己実現の場を望きたのは、いい友人に恵まれているから、可能性を、信頼関係があったこと、見えて、この素晴らしさが少しずつ実感できるようになってきたためです。家庭裁判所の調停委員をしています。人の話をきくと、自分ができて、ITCの学習はこれにもプラスになっています。

高柳さん、そうなんです。会長としての責任があります。日本には事務局長もアシスタントもい

と学校教育にも取り入れてほしい。そのために、五十周年のシンポジウムを成功させたい。ITCの活動を知らせてあげたいです。

(学芸課・野村喜美子)

## どうかいい人模倣様

ITC(インターナショナル・トレーニング・コミュニケーション・センター)とはどんな団体ですか。

高柳さん、上手な話し方、聞き方を通じてコミュニケーションの訓練、効果的な会の運営法、リーダーシップの養成などを学ぶ女性のための自己啓発の組織です。アメリカで生まれ

高柳さん、上手な話し方、聞き方を通じてコミュニケーションの訓練、効果的な会の運営法、リーダーシップの養成などを学ぶ女性のための自己啓発の組織です。アメリカで生まれ

高柳さん、上手な話し方、聞き方を通じてコミュニケーションの訓練、効果的な会の運営法、リーダーシップの養成などを学ぶ女性のための自己啓発の組織です。アメリカで生まれ

中 日 乗 新 聞 (夕刊)

# ひと ゆうかんさん 人

## 世界を舞台に研さん



国際的な教育訓練機関で非営利 勤務める。世界中から約十五団体の ITC(インターナショナル・トレーニング・イン・コミュニケーション)のメンバーが参加して、とても勉強になりました。と感心する。ITC(インターナショナル)の日本語版を、八月一日から就任した高柳恭子さんに、名古屋市昭和まで、びっしりのスケジュールをこなすから、と驚かす。一方では「朝七時から夜中の十二時すぎまで、素晴らしを極めた人が多い。しかし、やや引退的な考えで、今後はここに研さんを重ねては、が実感した。

区山脇町は、多忙な日々が続く。七月十九日から二十日までのカナダ・バンクーバーでの世界大会、日本から三十一人のメンバーの一員として出席。帰国して報告や今後への啓発に飛び回って早女会長になって、これから二年

昭和62年(1987年)8月10日 (月曜日)



## ITC コミュニケーターより From "ITC COMMUNICATOR"

# ITC

### ITC 50周年を祝って

Celebrating 50 Years of ITC p.12

Bonnie J. Cofer, Chairman

50th Anniversary Committee

お祝いの時が来ました。ITCは生誕50年をむかえ、国際規模のパーティーを催そうとしています。50周年記念委員会は、このすばらしいショーを演出するためにプランやアイデアを提供するために世界中から任命されました。私達は全てクラブ、カウンスルそしてリージョンに参加するよう呼びかけています。これは、ITCを貴方の地域の人々に広めるまたとないPRの機会です。

祝賀は1987年9月1日から始まり1988年7月にフロリダのオーランドで開催されるコンベンションの大祝賀会で幕を閉じます。

新しく就任したどのレベルのリーダー達も今や自分達の任務に着手し始めようとしているでしょう。すぐに、このお祭りにどんな趣向がこらせるか計画をたててください。

次にお見せするアイデアは、どの国のどのクラブでも採用できるというものではないかも知れませんが、利用できそうなもの、良さそうなものを使ってください。勿論、このアイデアをふくらませてもっとユニークなものにしてください結構です。

テーマをお決めになるのに手をお貸ししましょうか。こんなテーマもあります。

○輝く黄金の記念をみつけ、宝を収獲しよう。 ○輝くアイデアから、素晴らしい現実へ。

○足跡をみつめ、今日を祝う。

○昨日の仕事ー明日の成果。

○黄金の夢、世界の現実。

○輝く出発から、栄光の未来へ。

○過去をふり返り、未来に目を向けよう。

○足跡を祝い、未来を先見する。

私達は、全てのレベルで50周年記念コミュニティーを作ってください、プログラムを立て、PRをし、この催しがメンバー全員参加の国際的な成果となるよう望んでいます。

ITCはPRのお手伝いをしようと思っていますが、貴方の地域でどんなPR活動ができますか。例えば、私達がどんな活動をしているか、どのようにしてきたか、これから何をしようとしているのかなどを説明したディスプレイを作るのはどうでしょう。それはポスターでも良いし、コラージュ(切り絵)の形でも、バナー、ビラ、パレードの山車でも、写真入りの歴史物語でも良いでしょう。それを図書館や職業紹介所、店頭など沢山の人が見る所に飾ります。忘れてならない事は、クラブに関するもっと詳しい情報がどこで得られるかを書く事です。勿論、テレビやラジオ局にインタビューしてもらう事もできます。又、行政当局に50周年記念月間を設けてもらえないでしょうか。もしそれが出来れば、タクシーやバス、地下鉄などに広告を出す事も出来、掲示板に載せる事も出来ます。勿論、ITC風船を使うこともできます。(No.620、最新の物品カタログに記載されている。)

この50周年はクラブ、カウンスル、リージョンで、長期間継続会員や業績を表彰するのに丁度良い年です。

クラブは最長継続会員に敬意を表す事も出来るでしょう。又、元会員と現会員の再会のつどいも計画出来るでしょう。生活で、仕事で、ITCで素晴らしい活躍をした会員を表彰してびっくりさせる事も面白く、意義ある事かも知れません。クラブの歴史を書いて地方新聞に載せるのはどうでしょう。

カウンスルはチャーターナンバーの一番小さいクラブや、最も長く会員である人を表彰したり、一般の人に理解してもらう様なポスターをクラブから募集してコンテストを開いてはどうでしょう。

リージョンは一番チャーターナンバーの小さいクラブを表彰したり、クラブやカウンスルのポスターや歴史をリージョン大会で展示する事も出来ましょう。

特別な出し物は会員の参加意識を高めます。これらは、スキットの形にしたり、スタイルショー

にしたり、ページェントやミュージカルレビューにしたりして、どのレベルでもする事が出来ます。

ITCで購入できる記念品が沢山あります。見てください。

勿論コンベンションが、きらめきとファンファーレと興奮に包まれて、グランドフィナーレとなります。

全部の方がオーランドの祝賀会に出席出来なくて残念ですが、貴方自身のお祝いを、一年を通じてする事が出来るでしょう。貴方の地域と、地域の人々に合った方法で参加すれば良いのです。

私達はITCが50年にわたって、世界中の男性女性の自己向上を約束し、やりとげてきた事を誇りに思います。私達には祝う権利があるのです。

50周年記念委員会はこの年を忘れないものにする為に貴方のサジェスションを求めています。アイデアやコメントを 446 Wildwood Drive, Grand Junction, CO 81503 U.S.A.迄お送り下さい。

リージョン翻訳委員 田辺敦子(錦)

## 好ましいリーダーシップ

Loving Leadership p.4

Jean Sanders

Lincoln Club

リーダーシップとは受けるに価する権利であり、価値ある責任でもあります。

リーダーが発揮すべき最も大切な特質は愛と関心です。すなわち世界とそこに住む全ての人々への普遍的な愛：組織とその主張への関心：組織のメンバー、メンバーの希望やニーズへの愛と関心です。

リーダーは謙虚でなければならず、自我を抑えてグループを自己に優先させるべきです。そしてグループと、グループが奉仕している社会に対しての奉仕意識をもつべきです。

リーダーは、メンバーが奉仕意識とグループへの忠誠心を培う為の助力をするのです。

リーダーには性格的な強さが必要です。リーダーは、グループのためになることだと感じたときは人気のない主張や行動も進んで支持すべきです。リーダーは任務ゆえの「石つぶてや矢弾の雨」を飲み込んでしまえるほどでなければなりません。

リーダーは、活動的にそして非常に熱心に言葉と行動で積極的な手本を示すのです。常にグループを代表するのはリーダーの義務ですから。

前向きな考え方と行動を通じて、リーダーはメンバーが自分が限界と置いていたところを越え、想像していた自分の可能性をさらに越えようと奮い立つよう助力するべきです。良いリーダーは、機転と外交手腕でこういうことができるのです。リーダーは指導と助言をするべきであって決して命令すべきではありません。

リーダーは自分の仕事が一時的なものだということを思い出してください。リーダーは絶対に誤りを犯さないものではないのですから、重要な決定を全くの独断ですべきではありません。

リーダーには、問題解決の能力、そしてグループ及びグループの目標についての十分な知識といった現実的な技術が必要であり、これら必要な技術は、リーダーシップについてのマニュアルにリストされていますが、大変重要なものです。

しかし、最も重要なものは目に見えないものです。それが普通のリーダーと非凡なリーダーとを区別するものなのです。愛、関心、謙虚、無我、奉仕意識、性格的な強さ、模範的な行動等が、組織を低迷の時から抜け出させ、遂には成功へと導く助けとなるのです。

リージョン翻訳委員 市川 昌子 (芦屋)

## あなたが評価する番です

It's Your Turn to Evaluate p.7

Evelyn R. Miller  
Pittsburgh Club

スピーカーの評価を頼まれた。さあ、あなたはどうしますか。

評価はITCトレーニングの中で上達の“要”になっているものです。ITCの中で最も重要な学ぶ手段なのです。だから全会員は評価の仕組みと取り組もうとする前に評価に対する考え方を理解しておかねばなりません。

あいにく、批評と云う言葉は一般的には否定的な意味に理解されています。批評という言葉を知ると私達はすぐに欠点を強調したり、あやまちを指摘したり、何かを咎めたりする事とを結びつけて考えようとしてしまいます。そのような解釈はITCの中にはないし、この組織の中では歓迎されません。

ITCでは“建設的批評”をします。つまり“勧告する”(recommend)のです！ 建設的批評の裏にあるメッセージは“あなたのお役に立てると思います”と云う事です。その批評の受け手は、“この人は私に協力してくれる”と云う思いでそれを聞く事が出来るのです。建設的批評とは一人の会員が他の会員を精神的に支援する自然な姿なのです。全ての評価者ははっきりこの意味を理解しなければいけません。それが評価者として首尾よく役目を果たす為にメンバーが従うべき基準となります。さあ、あなたは評価の意味がわかりました。そしてスピーカーの評価者として指名された。さてどうしますか。

スピーチの組立をうまく評価する鍵は、よく準備する事です。

I、スピーチマニュアルや評価マニュアルに精通すること。スピーチの間に見たこと聴いたことを評価します。評価ガイドフォームを準備すれば必要なことを知るのに役立ちますし、評価を効果的に伝える言葉を見つけられるでしょう。例えば、評価者としては、話されているスピーチの内容に特別な注意を払う必要があります。スピーチは“導入”“本論”“しめくり”を含んでいます。導入の目的は聴衆の関心を集める事にあります。その点ではうまくいったらどうか？どのようしたらもっと良くなったか？質問の形でスピーチを始めてもよかったかもしれない。スピーチの狙いははっきりしていたか？本論は論理的でよく構成されていたか？本論の中の考えは聴衆が理解しやすかったか、漫然としていなかったか？しめくりはスピーチを終るにふさわしく明確に述べられたかまた、はっきりした要約であったか？結論の一部として冒頭の言葉に触れる事も役に立つのではないか。

II、スピーチの評価は2分以内で行う事になっています。スピーチの内容の評価の準備がすっかり出来れば他の面の評価を考える事が出来ます。例えば、話している間なごやかで落ち着いているように見えたか？自然な手の動き、声量、抑揚などの観点から、効果的話し振りだったか？スピードは早かったか遅かったか？視線は聴衆全体にうまく向けられていたか？スピーカーはよく選んだ言葉で効果的な“言葉の絵”を描いていたか、あるいは自分の考えを言い表わす言葉がすっと出てこないことが時々あったか？

III、スピーチの前にスピーカーのところへ行ってもどんなスピーチが計画されているか聞くこと。スピーカーは、情報を与えたいのか、説得したいのか、感激させたいのか、納得させたいのか、楽しませたいのか、それともストーリーテリングが目的なのか？ 目的がわかればスピーカーが自分の目指す目標を達成しているかどうか評価する助けになるでしょう。

IV、前もってスピーカーに特別注意していることがあるか、そしてそれを評価してほしいか尋ねなさい。聴衆への視線、手のジェスチャー、スピーチの速度、等が考えられます。役に立ちたいと願うあなたの真心にスピーカーは感動するでしょう。

さあ、評価する時間です。評価者はよく聴きよく見なければいけません。一度に二つの事は出来ません。スピーチが進行している間、総合的評価を書こうとしないように。明らかに必要だと考え

たらそれについて言えるようにちょっとしたメモを書きとめておきなさい。スピーカーをよく見てよく聴いていれば評価すべき要点を思い出すものです。スピーチが終わった時あなたのメモは、どんな様子であっても評価を報告するのに必要と思うものにふくらんでいるでしょう。

時間になりました。あなたは評価者として報告する為に呼ばれます。評価は指定された時間内でして下さい。評価では役に立つ批評だけにします。

- 1.具体的に云う。(出来たら例を上げる)
- 2.手ぎわよく。
- 3.正直に伝える。
- 4.良い点をほめる。
- 5.より良くするための方法を提案する。(出来たら例を上げる)
- 6.スピーチの説得力を補強する。

評価も学びの過程の一つです。全てのメンバーが役に立つ事が出来るのです。評価者がスピーチの内容を好むかとか同意するかとかは問題ではありません。スピーカーが共和党の再選の為に応援演説をしようとしていて、評価者は民主党員、ということもあるかもしれません。それも問題ではありません。評価者の役割はスピーカーのために役立つことなのです。スピーカーは出来る限りのベストを尽したか。もっと効果的にスピーチをする事が出来たであろうか? どのようにして?

評価は一人の人の意見にすぎないのだと云う事を心にとめておく事も大切です。スピーカーは必ずしもその評価に同意する必要はありません。他のメンバーよりもっとすぐれた評価をする人もいます。評価を通して成長する鍵は将来スピーチする時に役に立つ有効なものに心を開いておくことなのです。

全てのメンバーが評価にかかわっています。スピーカーは評価者の役に立つ意見を頼りにしています。評価者は批判的に聞く技術をみがいています。聴衆はスピーカーだけでなく評価者をも黙って評価しています。また、聴衆は将来スピーチに使えるアイデアをピックアップしています。評価というものは大変活動的な過程である事がわかりでしょう。

評価者の役を引き受けた時、あなたには重要な課題が与えられるのです。その任務の重要性を認識しそれにふさわしい敬意を持って仕事にあたる事が重要なのです。

評価者としてのあなたはITCの“要”なのです。

注:詳細については評価マニュアルを参照する事

リージョン翻訳委員 勝山和代(北大阪)

## 特別新製品

Special New Items p.9

from New and News from Headquarters

Muriel Bryant  
Executive Director

50周年記念会員スティックピンは皆さんが身につけたくなられると思います。これは、会員の1人である南アフリカリージョンエミニクラブのジュリアン・メイヤーさんのデザインされたものです。このピンは、モダンではっきりとした綺麗な線でITCと描かれ50が強調されています。皆様のコレクションの1つに加えられるにはいかがでしょうか。来年この新しいピンを誇りを持ってつける最初の方々の1人になって下さい。たった\$4.50です。

接着剤付きメモはとても重宝するものですね。メモをしておきたい何にでもつける事ができる小さな紙製品です。これにはいろいろな商品名がついていますが、とても役立つものです。私達は50周年記念に「ポップオン ジョット」という名前で作意いたしました。メモのサイズは、7cm×7.6cmでITCのマークと「私達の50周年記念」という文字入りの金色の箱に300枚入っています。1枚を取り出すと、すぐに使えるように次のメモが出て来ます。皆様が文具屋さんで買われる値段と比較してみてください。たった\$4.50で大変お買得になっております。素敵な贈物にもなりますし、使っていただいても便利なものです。

私達の50周年記念の年に見事な陶製のベルを鳴らすお手伝いをして下さい。高さ12.7cm底辺の直径7.6cmです。葉の冠の中に「50」と金で品良く装飾がほどこされ反対側には、同じデザインで、金文字でITCと入っています。ベルを集めていらっしゃる方は、きっとこれがほしくなると思います。澄んだ音色できばえの見事さは、見ていただければすぐにわかります。この特別な年に世界中の会合の秩序を保つ為に使うのに何とぴったりでしょう。お値段ですか？大変手ごろで\$6.50です。

入会されそうな方に贈って、私達の50周年のお祝いを強調する、値段の割に価値のあるものはいかでしょうか。とても魅力的なキーリングを用意いたしました。一面には、ITCのマークをブルーと白で、もう一面には、金で「50周年記念」と書いてあります。それは、スナップアウトタイプで、キーを簡単に取りはずしたり、入れたりできます。そしてお値段は、たった75セントです。新入会員の方にプレゼントできるように少し多めに手元に置いておかれると良いと思います。

はい、勿論シールも用意しております。金の模様を浮き出しにした特別のシールで、ITCとそのマークが浮き出しにされ、「尾」には、「私達の50周年記念」と書かれています。手紙や封筒、プログラムなどにつけて世界中にこの特別なでき事を発表するときにつかうと良いと思います。これは非常に多くの用途があると思います。そしてお値段は、100枚たった\$4.00です。

リージョン翻訳委員 奥田小夜子(錦)

## 会則VS常規

Bylaws Versus Standing Rules p.14

Midge Peterson

Miracle Strip Club

「会則と常規との違いが混同されがちです。あなたは会則を一時停止することを提議したことがありますか？(禁止事項)。会合を中止又は変更する時には、それを規定している常規の一時停止の手順を踏まないで行ないましたか？」これも禁止事項から始まるITCコミュニケーター1987年7-8月号、14頁のBYLAWS VERSUS STANDING RULESの記事をお読みになりましたか？短い1頁の記事ですが、ここには会則と常規の違いが明確に説明されています。若し未だの方はぜひ一読なさることをお勧めします。

記事にも述べられているように、会則はその団体の最高の権威をもつ規則で、事前の通告なしに変更されることはありませんし又、一時停止したり無視したりする事はできません。

一方、常規は事務をスムーズに進める上で必要とあれば、事前の通告がなくても一時停止をすることができます。常規の一時停止は、付帯主要動機として提出され、①発言承認が必要、②セコンドが必要、③討議不可、④修正不可、⑤過半数の得票が必要と決められています。一時停止された常規は、その会合が閉会されると同時に元の効力を復活します。

あなたのクラブで、会合の一時的な日時の変更や時間延長などをする場合は、この手順を踏んで実行なさってください。

リージョン議会法規役員 小林令(東京)

## よいスピーチのエッセンス

The essence of a good speech p.16

from Winning Presentations

よいスピーチのエッセンスは次の短いルールにまとめることができます。

- 1.何を話したいかよく考えてきめる。
- 2.題材について徹底的に調べる。
- 3.聴衆をひきつける導入を用意する。
- 4.パンチのきいたしめくりを工夫する。
- 5.くり返し練習する一時間、強張点、明確さ、調子を確認しながら。(但し、暗記はしないこと。)

編集アシスタント 田中あさ子(名古屋)

## 公式訪問

The Official Visit p.20

Bernice L. Mussehl, Past Regional President  
Peaks and Plains Region

皆さんは次のカウンスル例会に公式訪問者としてリージョン役員を迎えます。それは何の目的があるのでしょうか。

ITCの会則に従って、リージョンの目的はITCの方針と目的を実行することです。この目的を成し遂げるために、“リージョン”は私達の活動を調整し、私達を援助し、ITC資料の理解を促進し、ITCへの関心を刺戟する等を行います。(ITC会則第八章A項を参照) 私達のリージョン役員はITCの目的達成のために、私達によって選ばれているのです。

このように、公式訪問は単にリージョン役員が旅をして、カウンスル会員達と知り合いになり楽しい日を持つ機会を与えるものではありません。そうだったらケーキの上のデコレーションにしすぎません。

公式訪問で、リージョン役員は選ばれた役職を果たすために働きます。カウンスル例会に公式の立場で出席した訪問役員は(後でカウンスルとリージョン役員会へ報告しますが)カウンスル例会の出来ばえを、出席状況、快適さ、準備、委任状、儀典、議会法規役員による派遣員のブリーフィング会長の議事日程、プログラムの準備と上演、会合全体の詳細、誰が、何を、いかにしたかの概略を含めて観察し記録して評価をします。訪問者は会員を援助するクラブを助けるためにどの程度まで企画されていたかも評価します。

訪問役員がカウンスルのどの会員がITCのさらに上のレベルで働く潜在力を実証したかを記録しその会員達が上のレベルで働くように勇気づけるのもまれではありません。

いや、公式訪問は単にお知り合いになることではなくて、可能性を探究する私達会員が専門家として学び成長するのを助けるクラブを援助するカウンスルを援助することなのです。

リージョン次期会長 鈴木宏子(名古屋)

## 自信を持つこと

Gaining Self-Confidence p.21

Midge Peterson

Miracle Strip Club

自信とは自分自身を信頼すること、つまり何か問題が起ればそれに対処出来るのだという気持ちです。問題処理を必要とする立場にたつための準備をすることによって、私達は自信をつけています。私達が充分準備している時、明らかに私達に権威が具わります。人はその権威を認めそれに従って動き反応します。

自分の能力に対して積極的な態度を取らなければなりません。(私達は自信を持っているときは適切な行動をとることができます。自分が有能であるというイメージを保ち、それを何事によらず変えてはいけません。あらゆる事に答えられる人はいません。だから、自信のある人は自分の信頼が失われてしまうであろうという考えを持たずに「私にはわかりません」といえるのです。

クラブ会長は会議事項を消書する時間を取り、必要とあれば、予想される動議の処理方法を前もって、議会法規役員と調べておくことによって会長たる自信をつけるのです。又、会長は各委員会委員長が何を報告するのか知っておいて、その報告をいかに処理するかを考えておきます。次に会長は起り得る問題を一つ一つ書き取っておき、例会前にそれをどう処理すべきかを決めておいて、頭の中で例会の予行演習をしてみるのです。この過程をふんでおけば、会長の権威を実証し、例会を上手に運ぶと同時に人も上手に指揮する人であるとの評価を得るでしょう。

もし自信というものが、自分は準備すれば物事をうまく処理出来るのだと分り、落ちついていられることだとすれば、誰でも、もっと自信を持てるようになれるということです。

リージョン翻訳委員 加藤啓子(甲南)

※コミュニケーターp.18にリージョン エクステンション コミッティの委員長でいらした伊庭文子さんのVOICES FROM EXTENSION と題する記事が記載されています。これは、リージョン会報Vol. 5 №3のp.13の記事が英訳されたものです。



## 会則・決議委員会より Amendments to Japan Region Bylaws and Standing Rules

*ITC*

会則・決議委員長 喜 谷 匡 子 (葵クラブ)

リージョン会則・決議委員会は、リージョン会則第9条B項4にもとづいて、各クラブ、カウンスル、リージョン常任委員会及びリージョン役員会に、現行のリージョン会則と、常規の修正案の提出を要請します。現行のリージョン会則をお読みの上、修正したい箇所がありましたら、1988年2月1日までに下記の書式にもとずきご提出下さい。

1. 提出クラブ、カウンスル、リージョン常任委員会及び役員会名を明記のこと。
2. 修正箇所のページ、第\_\_条\_\_項\_\_節
3. 修正したい現行会則を現行会則に書かれている通りに記す。
4. 提案する修正案文と修正方法(削除・付加等)を記す。
5. 修正後その文章がどう表記されるかを正しく記す。
6. 修正の理由と効果を記す。
7. コピーは3部作る。
8. 修正案は必ず日英両国語で提出する。

### 注意

1. 提出する修正案が他の条項に影響を及ぼさないかを調べ、一致するように直すべき箇所の修正も合わせて提出する。
2. 修正案はITCレベルで制定された会則に矛盾したり、逆行したりするものであってはならない。
3. 提出クラブ、カウンスル、リージョン常任委員会、リージョン役員会は、各レベルで修正案提出審議をおえた後、会則・決議委員会へ提出する。
4. その他、修正案文についてはITC議事法マニュアルP26定款一会則一常規の項を参照のこと。要請書は12月に各レベルへお送りします。

(※会則・決議委員長は盛田純子さん(名古屋クラブ)に変わりました。したがって今後、  
会則決議に関する記事は盛田さんが担当します。)

Bylaws and Resolutions Committee requests to submit amendments to the current Japan Region Bylaws and Standing Rules from all the member clubs, Councils, Region standing committees and Region board of directors by Feb 1, 1988. Please use the following format for each amendments.

1. Name of your club, Council, Region standing committees and Region board of directors.
2. Page, article, section, number and letter.
3. The bylaw as it now reads.
4. Proposed amendment and method of amending. (striking, adding, etc.)
5. How the paragraph would read after amendment.
6. Reason and effect.
7. Submit three copies of each amendment.
8. Give each amendment both English and Japanese.



# ITC基金の報告

## Report of ITC Endowment Fund



ITC基金委員 菊池悦子

バンクーバ大会で日本リージョンからの基金はその総額に於て2位の賞を受けたとの事でした。リージョン大会でご報告しましたように皆様方から寄せられました基金は目標額を上まわり、基金総額は¥342,253でした。

内訳 カウンسلNo.1 ¥ 77,750(9クラブ)  
       カウンセルNo.2 ¥146,680(15クラブ)  
       カウンセルNo.3 ¥117,823(13クラブ)  
       \$1200を教育資料開発のため } 小切手を作り、  
       \$1000を本部ビルのため } 送金しました。

尚、他にInner Circle Pin 6ヶ\$900(¥90,000)と浜松クラブ¥1,000をMrs. Gail Collins に大会当日お渡ししました。又、有志の方から寄せられました着物、羽織類はSAL便で3コ発送し参加者にもご持参頂き、何れも大変な人気で一品残らず売れ、喜ばれたとの事でした。基金委員の八日市屋さん、上島さん初め、何名かの方々が奮闘をして下さり、売上額はカナダ\$576でオークションに出した着物はカナダ\$45で売れ、少々値段が安すぎたとの声も頂きましたが日本の着物類、小物に至る迄喜ばれ、来年もと所望されたとの事でした。今期多くの会員の方々の多方面にわたってのご協力を感じ、お礼申し上げます。

又、この基金が有効に使われITCの充実した活動の資源となる事を願いご報告致します。

ITC日本リージョン基金委員会

### カウンセル例会への公式訪問予定表

カウンセル例会	カウンセルNo.1	カウンセルNo.2	カウンセルNo.3
第一回	'87 10月30日(金) 高柳	'87 10月5日(月) 新木	'87 10月29日(木) 鈴木
第二回	'88 1月26日(火) 野田	'88 1月23日(土) 高柳	'88 1月29日(金) 伊庭
第三回	4月21日(木) 常田	4月23日(土) 鈴木	4月5日(火) 高柳
第四回	6月21日(火) 伊庭	6月30日(木) 野田	7月6日(水) 新木

\*変更の場合もあります。

※Council No.1 所属の千葉クラブ(英語)は、1987年11月29日(日)1:30P.M.より柏YMCAにてチャーター式典を行います。



## 資料役員からの案内 From Supply Officer

# ITC

リージョン資料役員 堀内 迪子

今年度は資料の保管及び管理、発送を服部印刷社に依頼することになりました。従って各クラブには、直接服部印刷社より品物が届けられます。申し込みは従来どおり資料役員が受けつけます。

- 1.年間行事予定などを考慮して、早目に申しこんで下さい。
- 2.注文は必ず会計がクラブごとにまとめて、指定の申込用紙を使用して下さい。カウンスル、リージョンも会計がまとめて申し込んで下さい。  
申込用紙にはJR番号順に記入して下さい。
- 3.申込期日は年4回〔9月、11月、1月、4月〕とします。
- 4.代金は必ず送料(一律700円)も加えて、品物到着後1ヶ月以内にお支払い下さい。その際、郵便振替払込書を利用して下さい。払込票を領収証とします。
- 5.今年度はカウンスル例会での販売は、一覧表D1～D12の物品と事務用品に限らせていただきます。他の資料は見本を例会に展示しますので、所定の申込用紙で申しこんで下さい。
- 6.リージョン大会では全資料の販売をします。
- 7.申込先

- 郵便振替口座番号 名古屋7-2503
- 名称 ITCジャパンリージョンサプライコミッテイ
- 住所 〒461 名古屋市東区主税町4丁目10番地 堀内迪子方
- 電話 052-932-4058  
931-7047

---

№1 資料役員 堀内迪子 (錦クラブ)

№2 資料アシスタント 柚本加代子 (六甲クラブ)

住所 〒650 神戸市中央区港島町6-14 D1704  
電話 078-303-1708

№3 資料アシスタント 戎井恭子(豊中クラブ)

住所 〒659 芦屋市東山町6-14  
電話 0797-31-5217

---

日本リージョン資料一覧表  
List of Educational Materials

ITC……本部資料番号

J R ……リージョン資料番号

1987—1988年度

品番 ITC J R	単価 (円)	品番 ITC J R	単価 (円)
<b>A 会 則</b>			
201 A 1	250	567 C14	250
203 A 2	250	556 C15	250
A 3	250	547 C16	250
		545 C17	300
		514 C18	200
		-A	
		514 C19	200
		20	250
		515 C21	200
		522 C22	150
		530 C23	100
		533 C24	150
		562 C25	250
		569 C26	100
		572 C27	200
		558 C28	250
		C29	200
		C30	200
		C31	300
		<b>D 物品・事務用品(ITCマーク入り)</b>	
		D 1	700
		D 2	350
		D 3	100
		D 4	300
		D 5	600
		D 6	300
		D 7	200
		D 8	200
		D 9	150
		D11	150
		D12	200
<b>C 教育資料</b>			
519 C 1	100		
C 2	300		
C 3	100		
503 C 4	200		
510 C 5	300		
511 C 6	250		
516 C 7	300		
536 C 8	200		
C 9	200		
C10	200		
505 C11	250		
526 C12	150		
542 C13	250		

## 特別会計からのお知らせ

今期特別会計の口座名義変更と\$換算変更をお知らせします。

①特別会計口座……住友銀行 大阪梅田支店 普通預金口座 1113359

名義……ITC日本リージョン代表者 江藤万里子

② \$ 換算 ……… 1 \$ = 160円(変更の場合は通達致します)

\*ITC本部へ送る手数料と郵送料が含まれています。

### 特別会計が扱う事務

- ①ITC年会費本部送金
- ②新入会員のITC入会金と年会費本部送金
- ③ITC本部物品資料 本部送金
- ④その他 新クラブに関する送金等

★詳しくは添付の別表を御覧ください

以上、リージョン特別会計は、みなさまの御便宜を測り又ご負担を軽くするためITCへ送金のお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

尚、上記ITCへの取扱いに関してクラブで直接して頂いてもかまいませんが以下の件は教育マニュアル料を日本リージョンにてプールする為、必ず特別会計を通して下さい。

★ 新入会員 申請

★ 新クラブ(増設による)会員申請

### 日本リージョン特別会計

〒659 芦屋市東芦屋町16-55 江藤万里子  
☎0797-31-3353

### アシスタント

〒662 西宮市深谷町11-9 杉山満佐子  
☎0798-74-0471

### 特別会計送り状

宛 先:江藤万里子 ITC日本リージョン特別会計

〒659 芦屋市東芦屋町16-55

☎0797-31-3353

差出人: \_\_\_\_\_ [ \_\_\_\_\_ ] クラブ会計

用 件:ITC本部へ送金依頼 198 年 月 日

ITC本部への送金金額U.S\$ \_\_\_\_\_ 相当の総額 \_\_\_\_\_ 円を住友銀行へ振込みました。

下記の書類を送付しますので、よろしくお願ひします。

- 銀行振込受取書のコピー
- 新会員入会申告書〔白と黄色の用紙〕
- 会員年会費申告書〔白と黄色の用紙〕
- 物品注文書〔英文で書き込むこと〕
- 内にチェックをしてください。

\_\_\_\_\_ クラブ会計

\_\_\_\_\_ 様 住所 \_\_\_\_\_ 〒 \_\_\_\_\_ ☎ \_\_\_\_\_

ITC本部への書類及び送金の手続きを済ませました。 198 年 月 日

日本リージョン特別会計 \_\_\_\_\_

★点線から上の部分は全て御記入ください。

又、点線から下のクラブ名、会計の氏名、住所、〒、☎も御記入ください。

★この用紙は会計がコピーをして予備をお持ちください。今期中使用致します。

## 特別会計

	取扱い期間と方法	用紙と書式 (用紙は何れも ITC 本部発行のもの)	金額 (1 \$ = 160円)
ITC 年会費	年度末に1回のみ(6~7月初旬) ①年次申告書用紙 ②特別会計口座への振込 受取書のコピー ③特別会計への送り状 以上3点を特別会計へ送付 すること ◎送金は口座へ振り込む	クラブ会員名年次申告用紙… 白色、黄色(annual statement of club membership) 各クラブ会長へITCより4月 メールで送られて来る 書き方、会計の要領書(ITC メールの翻訳文)に明記	ITC 年会費 20\$ (1名) (160円×20\$×納入者数)
新入 会員	毎月25日締切り ①入会申請用紙 ②特別会計口座への振込 受取書のコピー ③特別会計への送り状 以上3点を特別会計へ送付 すること ◎送金は口座へ振り込む	入会申請用紙…白色、黄色 (new membership application) 各クラブ会長へITC 4月メ イルで送られて来る 書き方、白と黄色に新会員各 人につき全項目を記入し速や かに送付する ★用紙の左上欄の余白に紹介 者の氏名、クラブ名を記入 すること introduced by [氏名] [クラブ]	入会金10\$ + 年間費20\$ = 30\$ (160円×30\$) 但し3月1日以降の新会員は その年度に限り 入会金10\$ + 1/2年会費 = 20\$ 6月、7月に入会の新会員は 入会金10\$ と次年度会費を 同時に納入すること
ITC 本部へ の物品 資料申 し込み	10月、2月、5月、(3回のみ) ①ITC資料申し込み用紙 (英文で記入) ②特別会計口座への振込 受取書のコピー ③特別会計への送り状 以上3点を特別会計へ送付 すること ◎送金は口座へ振り込む ◎上記各月末にまとめて ITCへ送付につき (必ず25日迄に申し込む こと)	ITC資料申し込み用紙 (order form) ITC資料カタログと申し込み 用紙は各クラブ会長へITCよ り10月メールで送られて来る 申し込み用紙はクラブで予備 をコピーして備えること 書き方、カタログ(1部翻訳あ り)参照の上、明確に記すこと	注文品相当金額に送料を加 算する 品物はクラブ会計宛に送ら れて来る 船便の料金の為1ヶ月前後 かかる 航空便を希望の場合は郵便 局で送料を調べて加算する こと 注文内容の重さにより不足 額の請求書が入って来る その時はその請求書を特別 会計宛に送付し、不足額を 特別会計口座に振り込むこ と ★送料は申し込み用紙 (order form)の下段に明記 されている

★締切日についての注意

銀行は土曜日の外貨手続き  
 は出来ないので急ぐ時は出  
 来るだけ早く送付すること

★書き方の注意

ITC送付の用紙には何れも英  
 語、ヘボン式ローマ字の活字  
 体で明瞭に書くこと

★送金上の注意

銀行振込の依頼人の項には  
 クラブ名と会計氏名を明記  
 のこと

1987.8.15

日本リージョン通常会計決算報告書  
Japan Region Financial Report  
1986.8.1~1987.7.31

収入の部	INCOME	予算 Budget	決算 Result
繰越金	Balance brought forward	¥ 1,382,286	¥ 1,382,286
会費	Dues(@2500×970,@1250×64)	2,250,000	2,505,000
増設補助金	ITC Extension Subsidy	22,500	22,500
基金から翻訳費補助	Translation Subsidy from Fund	300,000	300,000
歳入財源	Ways and Means	100,000	84,380
利子	Interest	30,000	56,709
収入合計	Total	¥ 4,084,786	¥ 4,350,875

支出の部	EXPENSES		
会報印刷代その他	Bulletin printing	950,000	926,820
交通費	Transportation		
役員交通費	Officers	350,000	445,360
任命役員交通費	Appointed Officers	50,000	48,060
委員会交通費補助	Committee Members	100,000	104,600
役員活動費	Officers Activity Expenses		
会長	President	80,000	89,905
次期会長	President-Elect	15,000	18,114
第一副会長	1st Vice President	30,000	39,480
第二副会長	2nd Vice President	40,000	52,315
書記	Secretary	70,000	72,250
会計	Treasurer	20,000	29,165
議会法規役員	Parliamentarian	5,000	2,010
編集	Editor	60,000	66,893
常任委員会活動費	Committee Activity Expenses		
資格認証	Accreditation	10,000	1,670
会計監査	Audit	2,000	1,100
予算・財務	Budget・Finance	5,000	5,210
会則・決議案	Bylaws・Resolution	30,000	27,968
選挙	Election	3,000	2,300
増設	Extension	30,000	31,650
歴史	History	10,000	
国際交流	International Relations	80,000	77,395
指名	Nominating	10,000	8,030
広報	Public Relation	15,000	9,985
出版	Publications	30,000	31,745
スピーチコンテスト	Speech Contest	10,000	7,920
翻訳	Translation	50,000	12,824

特別委員会活動費	Special Committee Expenses		
朗読研修	Oral Reading	60,000	50,400
ITC通信物翻訳	ITC All Club Mailing Translations	70,000	52,420
事務局設立準備	JRO Organizing	30,000	32,670
委任	Credentials	5,000	6,990
配布書類	Materials Distribution	40,000	40,370
翻訳費	Translation Expenses	300,000	319,405
増設補助金	Extension Subsidy		
ITC本部		22,500	22,500
リージョン	Region	60,000	60,000
役員研修資料代	Officers Training Materials	5,000	5,000
リージョン・ライブラリ	Region Library	5,000	
ITC大会出席補助金	ITC Convention Attendee Subsidy		
会長	President	50,000	50,000
次期会長	President-Elect	50,000	50,000
スピーカー	Speaker	30,000	30,000
物品資料購入	Purchase of Materials	80,000	79,809
名簿印刷	Roster Publication	50,000	49,600
慶弔費	Greetings and Condolences	5,000	
ITC基金	ITC Endowment Fund	5,000	7,020
事務局設立資金積立	JRO Organizing Reserve Fund	300,000	400,000
予備費	Miscellaneous	862,286	298,134
支出合計	Total	¥ 4,084,786	¥ 3,667,087
差引残高	Balance		¥ 683,788

1987年7月31日

日本リージョン会計 木下 あつ子

監査の結果正確で間違いのないことを承認します。

The above was audited and certified as correct  
by Auditors

会計監査 日比野 明子  
河津 百合

日本リージョン基金会計決算報告書

Japan Region Fund Report

1986.8.1~1987.7.31

収入の部	INCOME	
前年度繰越金	Balance brought forward	¥ 2,197,554
資料貸付返済金	Repayment from Supply Committee	300,000
資料売上金	Sales of Manuals and Supplies	1,923,298
大会剰余金	Surplus Fund from Region Conference	437,072
ITCスピーチコンテスト 参加基金	Speech Contest Participation Fund	103,513
歳入財源(1)	Ways and Means	422,668 ※ 1
歳入財源(2)	〃	164,147 ※ 2
利子	Interest	103,220
教育マニュアル 印刷積立金	Reserve Fund for Manual printing	254,447
事務局設立資金	JRO Organizing Funds	500,000 ※ 3
収入合計	Total	¥ 6,405,919

支出の部	EXPENSES	
印刷代	Printing Expenses	¥ 749,300 ※ 4
教育マニュアル 印刷代	Printing Expenses(Educational Manuals)	600,000
大会補助金	Region Conference Subsidy	500,000
通常会計翻訳費補助	Translation Subsidy to General Finance	300,000
資料委員会貸付金	Loan to Supply Committee	300,000
ITC特別会計運営費	ITC Special Treasury	250,000
送金料及び送料	Postages and Transfer Charge	3,135
ITCスピーチコン テスト参加基金	ITC Speech Contest Attendee Fund	15,000 ※ 5
支出合計	Total	¥ 2,717,435
差引残高	Balance	¥ 3,688,484

※1. ITC特別会計前年度の剰余金

※2. 〃 運営費(残額)の戻り、教育マニュアル売上金

※3. 日本リージョン事務局設立のための資金(但し、前年度繰越金10万円を含む。)

※4. 教育特集12種類、標準クラブ会則、リーフレットの印刷代

※5. 1984年度スピーチコンテスト出場者のための募金から、佐伯きよえさん(鳥取)に航空費補助として

1987年7月31日

日本リージョン会計 木下あつ子

## 第5回日本リージョン大会決算報告書

### The Fifth Japan Region Conference Financial Statement

収 入	INCOME	
リージョン基金会計より補助金	Subsidy from Japan Region Fund	¥ 500,000
リージョン通常会計より補助金	Subsidy from Japan Region General Finance	20,000
登 録 費	Registration Fees	1,858,000
欠席者協力費	Absentee Fees	274,000
食 事 代	Meals	4,812,000
物品販売金	Sales	585,840
寄 付 金	Donations	58,500
受 取 利 息	Interest	11,756
雑 収 入	Miscellaneous Income	15,152
神戸国際交流協会より助成金	Subsidy from Kobe International Association	100,000
合 計	Total	¥ 8,235,248
支 出	EXPENDITURES	
リージョン役員会	Board	¥ 10,615
大会委員長	Coordinator	12,360
大会副委員長	Co-coordinator	10,355
大会会計	Controller	6,171
登録委員会	Registration	8,510
登録会計	Register Treasurer	1,090
食事委員会	Meals Committee	4,820
宿泊 〃	Reservations "	2,320
キット 〃	Kits "	13,580
プログラム プリント 〃	Program Printing "	238,550
会場備品 〃	Meeting Place Properties	1,956,960
企画 デコレーション 〃	Decorations "	30,000
名札リボン 〃	Name Tags "	26,640
儀 典 〃	Protocol "	18,000
接 待 〃	Invitations "	40,000
ホスピタリティ 〃	Hospitality "	1,000
ホステス 〃	Hostess "	0
ITC VIP接待	ITC VIP Hostess "	53,920
インフォメーション 〃	Information "	620
ペ ー ジ 〃	Page "	600
写 真 〃	Photographs "	115,540
物品販売 〃	Sales "	4,065
広 報 〃	Public Information "	480
観 光 〃	Tours "	0
エンターテイメント 〃	Entertainment "	120,220
スピーチコンテスト	Speech Contest	66,350
プログラム ワークショップ	Program Workshop	95,870
インスタレーション	Installation	0
準備会会場費	Meeting Room Hire	19,200
予 備 費	Reserve Fund	62,500
食 事 代	Meals	4,877,840
合 計	Total	¥ 7,798,176
差引残高(剰余金)	Balance	¥ 437,072

(剰余金はリージョン基金会計へ繰入)  
(Surplus fund send to Japan Region Fund)

1987年7月31日

第5回日本リージョン大会 大会会計

井 上 保 子  
渡 辺 百 合

監査の結果、正確かつ妥当なものであることを承認します。

The above was audited and certified as correct.

Auditor 会計監査

土 居 和 子  
広 瀬 太 美

ク ラ ブ ー 覧 表

Club Roster

Council No.1

クラブ名 チャーターNo.	正会員数	年 間 テ ー マ	例 会 場 所・日 時	ク ラ ブ 会 長・住 所・電 話 番 号
名古屋 273	26	伝統と躍進	東山会館 第2月曜日 13:00～	田 中 あさ子 〒466 名古屋市昭和区五軒家町31-10 ☎052-831-0540
葵 2565	28	足元を見つめて	東山会館 第4水曜日 10:00～	藤 田 礼 子 〒465 名古屋市名東区西里町2-10 ☎052-703-0336
東 京 2668	26	アウフ・ヘーベン	レストランシャトー南青山店 第3火曜日 11:45～	目 羅 てる子 〒214 川崎市多摩区菅稲田堤3-19-29 ☎044-944-9164
錦 2669	22	継 続	東山会館 第2火曜日 10:30～	竹 内 汎 子 〒475 半田市成岩東町12 ☎0569-22-2221
栄 3099	18	自己啓発のすすめ	大垣共立銀行本山支店会議室 第3金曜日 13:00～	鈴 木 和 子 〒464 名古屋市千種区田代町鹿子殿81-947 ☎052-762-3895
筑 波 3150	22	Mutual Understanding	筑波研究交流センター 第2火曜日 13:00～	中 山 逸 子 〒305 茨城県新治郡桜村下広岡419-68 ☎0298-57-6419
青 山 3151	17	広く経済摩擦を学ぼう	レストランシャトー南青山店 第4火曜日 11:30～	後 藤 俐 奈 〒158 東京都世田谷区奥沢2-33-8 ☎03-717-2601
名 城 3192	26	言 葉 は 心	プリンセスガーデンホテル 第2金曜日 10:30～	高 田 美喜子 〒477 東海市加木屋町三ッ池12-98 ☎0562-34-8569
東 山 3323	28	素直に感謝	東山会館 第3木曜日 13:00～	久能木 千 穂 〒466 名古屋市昭和区広路町南山83 ☎052-832-2460

柏 3 3 6 3	2 8	Communication is the Key to Understanding	柏市中央公民館 第3金曜日 10:00~12:00	小 菅 あけみ 〒277 柏市明原3-20-29 ☎0471-43-1690
浜 松 3 3 7 9	2 2	和を結ぶPEACEMAKER の役割を	浜松市福祉文化会館 第3月曜日 13:30~	古 澤 由 紀 〒432 浜松市成子町186-1 ☎0534-52-1621

### Council No.2

阪 神 1 5 9 4	2 7	明日の輝きの為に、 For a bright Tomorrow	いかり芦屋店 2F 第1金曜日 14:00~	井 上 保 子 〒659 芦屋市東山町7-12-203 ☎0797-32-1802
神 戸 2 1 7 3	2 4	Building Bridge	神戸クラブ 第2火曜日 16:30~	Burke 良 子 〒658 神戸市東灘区御影山手2-1-18 ☎078-851-8487
東 神 戸 2 6 7 3	1 9	Sharing our time	太陽神戸銀行 夙川支店 第3木曜日 10:30~	中 明 博 美 〒665 宝塚市逆瀬台4丁目9-14 ☎0797-73-4626
九 州 2 6 7 4	2 3	軽やかな歩み	吉村薬品別府営業所 第3金曜日 13:30~	林 美 佐 子 〒874 別府市荘園町2-2 ☎0977-22-1486
鳥 取 2 9 9 0	2 8	心を伝えよう	ホテルニューオータニ鳥取 第4金曜日 10:00~	君 野 栄 子 〒680 鳥取市西町1-303 ☎0857-26-1216
甲 南 3 0 0 7	2 8	さわやかな風をいつも	三和銀行芦屋支店 第4木曜日 10:30~	柳 川 公 子 〒665 宝塚市武庫山2丁目10-19 ☎0797-71-1988
奈 良 3 1 5 4	2 4	今をより美しく	奈良市立中央公民館 第4水曜日 13:30~	総 谷 英 子 〒630-02 生駒市松美台52 ☎07437-3-5129
ひろしま 3 1 7 1	2 6	五年目を迎えて	婦人教育会館 第3木曜日13:00~	ラッセル 光 子 〒731-51 広島市佐伯区五日市町坪井 1043-2 ☎0829-22-5705

クラブ名 チャーターNo	正会員数	年 間 テ ー マ	例 会 場 所・日 時	ク ラ ブ 会 長・住 所・電 話 番 号
六 甲 3 2 2 8	2 5	より高く、より深く	神戸市勤労会館(三宮) 第2土曜日 14:00～	藤 原 栄 子 〒655 神戸市垂水区星ヶ丘1-3-5 ☎078-705-2766
米 子 3 2 6 8	2 7	活 か す	米子国際ホテル 第2水曜日 10:00～	市 原 文 子 〒683-02 鳥取県西伯郡西伯町東町35 ☎0859-66-2609
福 山 3 3 2 7	2 5	情熱を燃やす	コスモ証券会議室 第3金曜日 13:00～	北 川 弘 子 〒729-31 広島県芦品郡新市町新市686 ☎0847-51-3234
岡 山 3 3 3 1	2 8	絆を深め、未来に	岡山国際ホテル 第4水曜日 12:30～	黒 瀬 真紗子 〒703 岡山市湊1343-1 ☎0862-77-7392
松 江 3 3 5 8	2 9	信 望 愛	ホテル一畑 第3木曜日 13:30～	田 部 陽 子 〒690 松江市魚町49 ☎0852-24-8166
城 北 3 3 5 9	2 1	発想の転換	守口文化センター 第3水曜日 13:15～	坂 宮 静 〒565 吹田市古江台1-24-4 ☎06-833-1646
宝 塚 3 3 6 0	2 4	心にゆとりを	逆瀬川公民館 第2火曜日 13:30～	井 上 芳 子 〒665 宝塚市南口1-7-2 ☎0797-72-6871

### Council No.3

関 西 2 5 6 6	2 6	心にゆとりをもって	西宮神社会館 第2水曜日 13:00～15:00	鷺 見 美千子 〒560 豊中市北桜塚4-16-14 ☎06-854-3462
大 阪 2 7 5 4	3 0	豊かな愛と感性	アークホテル 第3月曜日 12:30～15:30	石 本 美知子 〒545 大阪市阿倍野区北畠2-10-8 ☎06-654-1121

芦屋 2755	24	こころの蒸る10年目	三和銀行芦屋支店 第4水曜日 13:00~15:00	白江圭穎子 〒659 芦屋市山芦屋町24-10 ☎0797-31-0661
京都 2824	29	共に学ぶよろこび	京都タワーホテル 第3金曜日 13:30~15:30	大野三恵子 〒604 京都市中京区高辻通坊城西入ル ☎075-811-6565
平安 2914	29	おしゃべりしましょう	新島会館 第4木曜日 10:30~12:30	伊東貴久 〒602 京都市上京区東堀川通一条上ル サンレジデンス錦陵714 ☎075-431-6426
都 3009	30	三願飛翔	京都タワーホテル 第1木曜日 10:30~12:30	黒田昌子 〒616 京都市右京区御室岡ノ裾町17 ☎075-462-5296
北大阪 3113	22	大きく豊かな心	ホテルサンルート梅田 第2火曜日 13:00~15:00	山崎真知 〒665 宝塚市小林2-3-31 ☎0797-72-4377
西宮 3160	19	ゆったりした努力を続けよう	三和銀行夙川支店 第1水曜日 12:00~14:00	山道詞子 〒654 神戸市須磨区大手町3-4-12 ☎078-735-1297
豊中 3264	23	誠実に	豊中市立中央公民館 第3水曜日 13:30~15:30	牧野世紀子 〒565 豊中市新千里東町2-7 C5-109 ☎06-831-5053
姫路 3292	27	日々おもしろ新たに	兵庫信用金庫本店 第3火曜日 13:00~15:00	村角容子 〒670 姫路市北条口5-84 ☎0782-22-5653
尼崎 3337	20	和と責任	サン・シビック 第4火曜日 13:30~15:30	小橋節子 〒660 尼崎市開明町3-18 ☎06-413-9179
舞子 3341	6	共に育ちましょう あなたもよし、わたしもよし	富士銀行垂水支店 第2月曜日 13:30~15:30	大島麗子 〒655 神戸市垂水区美山台2-12-5 ☎078-752-2271
南大阪 3365	29	さあ歩きだそう足並をそろえて	育徳コミュニティーセンター 第4月曜日 13:30~15:30	山田嘉子 〒545 大阪市阿倍野区文の里3-14-4-304 ☎06-623-5222

いづれも1987.8.1現在です。



# 1988年建国200年記念 リージョン合同大会のご案内



日時: 1988年6月3日(金曜日)～5日(日曜日)  
場所: オーストラリア キャンベラ市  
○レークサイド インターナショナル ホテル  
○オーストラリア国立大学

## プログラム予定

- 6月3日(金) 開会は「21世紀に向って」のスピーチで始まり、政治/メディア、サイエンス/テクノロジー、ライフスタイルに関して3人のスピーカーの基調演説があり、引き続いて参加者によるワークショップが行われます。
- 6月4日(土) ビジネスセッション、スピーチコンテスト、エデュケーションとインターナショナルスピーカーをお迎えしての祝宴があります。
- 6月5日(日) よりすぐりのつわものによるリージョン対抗ディベートとスピーチコンテストの決勝戦が行われます。

**YOU MUST COME**

**AUSTRALIA  
CONFRONTS  
TWO THOUSAND**





An Endorsed Bicentennial Activity  
11026

**A WEEKEND WITH WIT  
AND WISDOM**

**INTELLIGENCIA  
TALK  
CHANGE**



INTERNATIONAL TRAINING IN COMMUNICATION  
11027

**1988 Bi-Centennial Conference**

**Date:** Weekend beginning Friday 3rd to Sunday 5th June

**Place:** Canberra, Australia

**Venue:** Lakeside International Hotel  
Australian National University

**Content:** **Friday** will consist of a three-tier plenary session commencing with an opening plenary speaker on the topic 'Beyond 2000'. This will be followed by 3 keynote speakers, on one strand of the main topic such as Politics/Media, Science/Technology, Lifestyle, followed by participative work shops.

**Saturday** is a pot pourri of Business Sessions, Speech Contests, Education and a Gala Dinner with an International speaker.

**Sunday** the Great Inter-Region Debate will occur a veritable battle of the Giants and further Speech Contest finals.

For further information please contact  
Shirley Mettam, 30 Eastern Avenue, Mangerton,  
NSW, Australia, 2500.

1028

※詳しいことは

Shirley Mettam, 30 Eastern Avenue, Mangerton, NSW, Australia, 2500.

まで御問い合わせ下さい。

この大会は Australian Flinders と Australian Pacific 両リージョン合同で行われ、オーストラリア建国200年記念行事の一つとして公式に認められて行われるものです。これに関してのリージョン会報への記載と皆様のご参加への要望が合同リージョン大会広報委員長のイーブ・スキナーさんからまいりました。

関連記事は ITC COMMUNICATOR にあります。

Vol.2 No.4 March/April 1987 の p.16 で参照下さい。

## 編集者より

原稿のきまり (1987.8.1~1988.7.31)

1. 日本文は原稿依頼時に同封する原稿用紙を使用して下さい。又、B5の用紙にタイプ(ワープロ)していただくともっとありがたいです。
2. 英文はB5の用紙にダブルスペースでタイプ(ワープロ)して下さい。
3. 記事は会員にとって共通の興味と教育的意義を持つものが望ましいです。又、ニュース価値のある記事は必ず誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どうしたかを含んだ正確な原稿をおよせ下さい。
4. FAXを利用しての送稿も可能です。 FAX 052-991-8380 鶴飼恵津子宛

We also welcome articles in English.

Please type articles on B5 size white typing paper, double spaced, on one side only. Interesting articles of educational value are appreciated. Please do not forget to include the 5W's and 1H. You may send articles by FAX to Etsuko Ukai FAX No. 052-991-8380

## 編集後記

最近の朝日新聞の朝刊に“「暮し」の旗を掲げて”花森安治の仕事という記事が連載されました。その中で名編集長といわれた花森安治氏は「よい文章とは、自分の考えていることを、相手がそのまま受け取ってくれる文章のことだ。わかりやすい言葉以外は使うな。全部ひら仮名で書いてみて、そのままわかる言葉を使え。最少の漢字で書き、漢字は画の少ないものを使え。改行を多くしろ。」と言っています。これは、特に会報のために原稿を書く者にとって是非覚えておきたい言葉です。暑さの中寄稿下さいました皆様に紙面をかりてお礼申し上げます。苦言、提言など、どしどしお寄せ下さい

〒462 名古屋市北区駒止町1-50-2

TEL 052-916-2033

リージョン会報編集者：鶴飼恵津子（名古屋）

アシスタント：吉田千鶴子（ 〇 ）

田中あさ子（ 〇 ）

西村みつ子（ 〇 ）

※Vol. 6 No.2より、西村みつ子さんに替って奥田小夜子さん(錦)が担当します。

